**職務経歴書**

2022年2月28日現在

氏名：＊＊＊＊＊

**■職務経歴概要**

オフィスビル、学校、工場・プラント施設で床面積○○○○平米から○○○○平米規模の物件の施工管理業務に○件従事しました。○○年以降現場代理人として工事予算の管理、折衝などすべての業務を経験してきました。

**■得意とする経験・分野・スキル**

* 小規模電気設備工事の設計・積算業務
* 主に300kVA～4000kVA規模のオフィスビル、工場などの建築物を施工管理してきた経験
* 施主、ゼネコン、下請け業者など様々な業者との打ち合わせを経験し培ったコミュニケーション能力

**■職務履歴**

20XX年XX月～現在　　　　　株式会社＊＊＊＊＊

19XX年XX月～20XX年XX月　 ＊＊＊＊＊会計税務事務所

**■職務経歴詳細**

**株式会社＊＊＊＊＊　　20XX年XX月～現在**

事業内容：電気メーカー

従業員数：○○○名

資本金：○○○万円

**■職務詳細**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **期間** | **物件・工事名** | **用途・規模・構造** | **職種／職位** |
| 20XX年XX月～現在 | ○○ポンプ所監視制御設備(東京都○○区) | 浄水場SRC造3階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○浄水場監視制御設備更新工事(東京都○○区) | 下水処理場SRC造2階建○○○○平米 | 施工管理 |

**■職務経歴詳細**

**株式会社＊＊＊＊＊　　19XX年XX月～20XX年XX月**

事業内容：電気工事、空調工事、リニューアル工事

従業員数：○○○名

資本金：○○○万円

**■職務詳細**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **期間** | **物件・工事名** | **用途・規模・構造** | **職種／職位** |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○ステーション新築工事(神奈川県○○市) | 火力発電所SRC造3階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○環境センター新築工事(埼玉県○○市) | ゴミ処理場SRC造6階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○事業所新築工事(神奈川県○○市) | 事務所SRC造6階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○工場　災害対応工事(栃木県○○市) | 事務所SRC造6階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○大学○○キャンパス○号館改修工事(神奈川県○○市) | 校舎RC造2階建○○○○平米 | 現場代理人 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○大学○○高等学校・中学校武道館新築工事(神奈川県○○市) | 体育館RC造2階建○○○○平米 | 現場代理人 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○工場新築工事(千葉県○○市) | 工場SRC造3階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○自動車本社新築工事(神奈川県○○市) | 事務所SRC造22階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○新築工事(神奈川県○○) | リゾートホテルRC造5階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～20XX年XX月 | ○○ホテル改修工事(神奈川県○○) | リゾートホテルRC造5階建○○○○平米 | 施工管理 |
| 20XX年XX月～19XX年XX月 | ○○センター新築工事(神奈川県○○市) | 事務所SRC造7階建○○○○平米 | 施工管理 |

**■資格**

**・**19XX年　○月　普通自動車第一種免許　取得

・19XX年　○月　電気工事施工管理1級　取得

・19XX年　○月　第1種電気工事士　取得

**■自己PR**

**工期を必ず守る**

工程表の見直し、資材発注管理を徹底して行い、顧客や工事関係者との打ち合わせで効率化を図り、工期内に竣工できるように社内外で協力・連携しながら進捗、工程管理を行ってきました。日程を前倒しして納めた物件もあります。ただ工期のみだけではなく、安全管理においても大きな事故は一度もありませんでした。報告、連絡、相談を徹底して行い、現場は常に整理整頓し、携わる人が動きやすいように心がけました。

**コミュニケーション能力**

社内だけでなく、協力業者、元請けのゼネコンなど社外においてもコミュニケーションをはかってきました。私はこれまで担当した工事では可能な限り現場へ足を運び、施工の進み具合に応じて現場の人々とコミュニケーションをとり、お客様の要望を形にできるよう心がけてきました。その結果、品質を保ちながらスケジュール通りに施工工程を進めることができたのだと考えています。

以上